



ミツバチとハチミツの食文化

公開講座プログラム

13:30 開場(受付開始)

14:00 開会

14:05 講演(90分)

養蜂文化の多様性と
「テロワール」が支えるもの

15:35 質疑応答

16:00 閉会(終了予定)



講師
しん かい り か
眞貝理香氏
東京大学
農学生命科学研究科
特任研究員

“ハチミツ”その利用が約8000年前に遡ると言われるほど、人間がもっとも古くから使用している甘味料です。そしてそれを生み出す“ミツバチ”は花粉媒介者。私たちの食を支えている重要な昆虫のひとつです。

『vesta』特集「ミツバチとハチミツの食文化」より、眞貝理香氏（「世界と日本の養蜂の歴史」他）がご寄稿内容を中心に、ニホンミツバチをはじめとした各地の養蜂文化、ミツバチとハチミツと私たちの暮らしの関係、そして毎日の食に、より豊かな彩を与えてくれるハチミツの魅力について解説します。

●「聴くvesta」とは

食文化誌『vesta』のご執筆者を講師に招き、ご寄稿内容を中心に講義をして頂く公開講座です。誌面に収まりきらなかった話題も取り上げますので、さらに理解を深める事が出来ます。50名程度を対象に講義と質疑応答で構成。小規模なので講師との距離が近く、気軽に質問が出来るのが特徴です。

2025年
1月31日(金)
14:00～16:00
(終了予定)

会場 AP品川 Aルーム

〒108-0075

東京都港区港南1-6-31品川東急ビル 8F

<https://www.tc-forum.co.jp/ap-shinagawa/access/>

定員 会場50名(先着順) ※要事前申し込み

主催 公益財団法人
味の素の文化センター

申込方法

募集開始:2024年12月17日～

二次元バーコード、
下記リンクの受付フォームより
申し込みください。



<https://ws.formzu.net/fgen/S703386885/>

問合せ先:shokubunka@9th-note.com